



こんにちは

白子の議会

です

第141号

令和3年9月2日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 町の花「ひまわり」

第2回定例会

令和3年第2回定例会が6月22日に開催されました。
一般質問は、9名の議員が町政をただしました。

- 9議員が一般質問……………2~10ページ
- 補正予算等に対する質疑応答
- こんなことが決まりました……………10~12ページ



一般質問

町政をきく

地方創生臨時交付金を活用した施策の進捗状況について

宗島 理仁 議員

議員 令和2年度に創設された地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図るため創設された交付金です。

自治体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう、各自治体の判断により、感染症対策等、自由に使うことができる仕組みになっています。

令和2年度には、子育て世帯応援給付金給付事業や健康ポイントの上乗せ等、様々な事業を展開していったと思います。

令和3年度に繰越しをした事業、例えば保育所の手洗い場の自動水栓等、様々あったかと思いますが、その後の執行状況、いつまでに事業完了するのか伺います。

また、感染再拡大阻止に全力を挙げている中で、町も、新たに支援策や感染症対策のための措置をしなければならぬかと思いますが、どのようなものを考えているのか見解を伺います。

影響を受けている事業者へ速やかに支援をしていく

総務課長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、令和2年度一般会計繰越明許費繰越計算書として報告させていた16事業のうち、12事業を令和3年度に繰越しをしております。

執行状況ですが48%の執行率になります。

内容としましては、施設改修整備等のハード事業はおおむね順調に執行しておりますが、商工費

の3事業については、新型コロナウイルス感染症が予想以上に長期化している影響もあり、アフターコロナを見据えた事業実施の検討や宿泊者の回復がまだ見通せないため、執行率は低くなっております。

新たな施策として、令和3年度、国の繰り越し分1千5百84万円を確保しております。

また、小・中学校の手洗い施設の自動水栓化事業に5百87万円を予定しております。

その他の事業については、7月上旬に国への実施計画を提出する予定ですので、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている事業者支援等の事業を検討し、補正予算を編成させていただく予定です。



小規模事業者、商工業の支援策について

議員 観光事業は町にとつて一つの基幹産業であり、この夏の海水浴場の不開設という中で、集客の大きなツールを失ってしまっています。

このような状況で、宿泊費の補助や観光PR事業だけでなく、施設の老朽化に伴う修繕や感染症対策に伴う改装の補助等、継続的な支援が必要になるかと思いますが、商工観光業の支援策、町としての予定などを伺います。

復興のための支援を

総務課長 町の観光業及び商工業は大打撃を受けております。

事業者への支援、また復興のための修繕等、必要と考えておりますので、対応していく予定です。

三十六年ぶりの町長

選挙勝利を祝して

東海林 東治 議員

議員 多くの住人の賛同を得て就任された石井和芳新白子町長、誠におめでとございます。

選挙戦に掲げられた住民主体の行政運営をよろしくお願い申し上げます。

文豪幸田露伴は、カタツムリの歩みのような努力が私の未来を築き、私の過去を美しくする。

またガンジーは、良いことというものは、カタツムリの速度で動くと言っております。

理想が大きいほど目的は遠く道は険しい、日々の歩みに歯がゆさを覚えることもあると思いますが、地味でも一歩一歩着実に進め、住民一人一人の声に耳を傾け、そして町政運営を、更には、白子町の刷新への舵取りをよろしくお願いいたします。

地域まちづくり計画について

議員 白子町には多くの特質された人材が埋もれております。地域にある資源、人材の埋蔵金の活用であります。

そこで、人材バンクを設立し、様々なノウハウを経験された方々に登録していただき、参加を促し、まちづくり促進に活用する施策検討の考えがあるか伺います。

参加しやすい 仕組みづくり

総務課長 第5次総合計画で、参加と協働のまちづくりをテーマとし、各種ボランティア団体に協力して頂いております。

提案がありました人材バンクの人材資源の掘り起こしは、今後非常に重要になると思います。町

長の意向を踏まえて対応して参ります。

定住促進を図る施策を

議員 本町においては、移住者窓口がないために、永住できず転出する方々が多々ございます。

地域住民との融合を図るコミュニティの場が必要と考えます。人間関係、自治会、地域行事、行政サービスの説明等数多くの戸惑いの解消を図る施策は、永住、定住に大きな一役を示すことと思ひます。

本町において、具体的な定住促進を図る必要があると思ひますが、見解を伺います。

住民参加の環境づくり

総務課長 白子町まち・ひと・しごと創生の第二次総合戦略でも推進しておりますが、行政上ゴミの出し方、子育て支援等々の定住に向けた受皿整備を実施しています。改めて町長の意向を踏

まえ、対応して参ります。

学校給食の メニューについて

議員 学校給食は児童の学校生活の楽しみであり、食は文化ともいいます。

以前質問をしたアンケート調査をし、リクエストを取り入れたメニューの改善策がありません。

本町において、給食の主食はご飯。コメの消費に一役を担っていると思ひますが、主食をパン、麺にすることで副食のバリエーションが広がるはずで

す。関東地方のリクエストが多いのは、揚げたパンだそうです。メニューの見直しの施策を伺います。

喜びのある食育を

給食センター所長 アンケート調査をし、児童の喜ぶメニューの把握はしております。パンの提供は、数年提供していません。家庭では食さない食材を使った献立も食育と思っております。今後、

検討して参ります。

学童保育について

議員 厚労省は放課後児童健全育成事業で、健全な育成を図り、現在、文科省の放課後子ども教室推進事業を一体的に連携する併設型が多く、学校施設の活用が進められています。

本町において、南白亀小学校、関小学校は空き教室を活用しています。しかし、白濁小学校のキッズクラブは旧態依然として、雨漏り状態の農協施設で走り回る程度の遊び、運営も保護者任せ。子育ては、保護者、行政、地域の三位一体が基本であります。今後の施策を伺います。

即急に施策検討

住民課長 白濁小学校の空き教室の活用意向で検討して参ります。運営については、行政主導、民間、教育委員会、社協等々検討いたします。

町長選挙の総括について

大多和 正之 議員

議員 36年ぶりの町長選挙が行われ、投票率も69・34%と議会議員の投票率を上回り町民の関心の高さを感じる選挙結果でしたが、時代の変化か以前の選挙戦とは全然違った選挙戦だと感じました。二極化され行政が停滞すると心配の声も上がっています。住んで良かった白子町の実現はかなわないと思うので、町長選挙の総括として石井町長の考えを伺います。

ワクチン接種状況

議員 65歳以上、医療関係者の接種が進んでいると思いますが、64歳以下のワクチン接種ですが、現状では情報が無いので、今後のスケジュール等を解る範囲でお答え下さい。

真摯に耳を傾け

町長 両陣営とも個々に言い分はあると思いますが、選挙が行われる事により行政に関心が高まった事は事実だと思います。真摯に耳を傾け、行政執行を実施していきたいと思っています。

また、二極化というこ

集団接種を実施

健康福祉課長 4月中旬より管内医療関係者、高齢者の接種が5月29日から行われましたが、長生郡市予防予約センターでの電話がつながらない、インターネットは難しい等の多くの御意見を頂戴いたしました。町では役

場で7月11日～8月22日の毎週日曜日に集団接種を実施いたします。

64歳以下のワクチン接種につきましては、7月下旬に接種券を通知致します。職域接種、大規模集団接種を進めていることから、接種券が必要となる場合に備え迅速に送付できるように対応して参ります。



新しい視点での観光発案について

議員 コロナ感染の収束が見込まれない中で、観光業の2年続けてのダメージが予測されます。新たな考えも重要ですが、現状を見るとコロナ前の賑わいを第一と思うが、観光業をどのように立て直していくか、また行政に

よる協力体制は何をどのように行うのか伺います。

政府の補助金等、全て活用して

町長 白子町の観光は、テニスが主体でしたが、これだけではなく一般観光客も集客できるような仕掛けづくりとし、観光農園等、農業とコラボ出来る様に考えています。行政の協力体制については政府の補助金等を全て活用して支援していきたいと思っています。

町長のマニフェストについて

議員 白子荘、アクア健康センターについて伺いますが、民間資本を入れ運営も民間に委託し宿泊を伴う入浴施設の復活をとの考えがあるようですが、白子町の宿泊施設との関係をどのように考えているか、町民の福利厚生施設については温泉ホテル組合と協議し町民が日帰り入浴を利用する時

等に支援する考えがあるか伺います。

民間資本を入れ活用

町長 白子町観光の発祥地でもありますので、行政が経営するとアクア健康センターの二の舞になりますので、民間資本を入れ活用して頂ければと思います。

民間が来たから中里地区の旅館街が衰退するという構造で物事を考えないで、相乗効果があるような形で誘致したら良いと思います。町民の福利厚生については、かつてはアクア健康センターも割引があったので、十分に考え行うべきと思っています。



町政運営の基本方針は 町と地域住民の連携でといわれるが

梅澤 哲夫 議員

議員 町と自治会、また自治会未加入者に対する対策については、行政全般の見える化、町と地域住民との連携、協働、合意形成、情報共有を公表とありますが、自治会の実態と未加入者への対応について伺います。

自治会活動は

自主的に

総務課長 自治会は地域住民同士助け合い協力し合って住みよい地域づくりをする目的があり、自主性には町は介入しないことが担保されている。転入で来庁された際など、どの自治会になるかということを知らせている。

自治会加入状況と 今後の展開について

議員 町においては自治

会加入者はどのくらいあるのか。数字的把握をしているのか伺います。

今回の町長選、議員の補選にて地域生活の感想等を聞いた中では、町に住んで10年過ぎているが地域との交流があまりできない、日常発生するゴミの捨て場に困っているなどの声が聞かれます。他方の意見としては、自治会費は払ってくれるが行事への参加は積極的ではないとの話も聞きます。

町長は、町運営の基本方針として、町と地域住民との連携が掲げられています。20年・30年前に居住され、今、高齢化などの理由から地域活動から離れていく人も見受けられる中で、自主的な組織といわれる自治会活動の活性化に向けて具体的な考えを伺います。

6割くらい

総務課長 6月1日現在の白子町の世帯数4千9百43世帯のうち自治会加入者2千9百84世帯で、60・37パーセントとなっております。

行政サービスを進めながら

町長 自治会加入対策としては生活インフラ、道路、側溝などの整備などの行政サービスを進めながら加入促進を図りたい。

役場庁舎内の改革を考えているとのことですが

議員 町長は以前から町の行政機構に企画室がないといわれていました。住民目線と社会ニーズのある組織づくりといわれますが、10年20年先を見通しての改革を行うのか伺います。

企画・財政としての独立を

町長 今総務課内にある企画部門については、町行政を司る中において、企画・財政として独立を考えた。

どんな点が問題なのか 住民の満足度とは

議員 窓口業務の対応についてですが、人によっては課をまたいで別の課へ案内してくれる人もおられます。

今コロナ禍の中、ワクチン接種の不満のはけ口を役場窓口にしてしまったなどという人の声も聞かれます。窓口対応の考えについて伺います。

業務内容知識向上から

町長 接客技術とか、話法の問題だけでなく窓口への不満は多いと思います。業務知識不足解消のため、人事配置にローテーションをつけ教育していきます。

さわやかな電話対応

議員 町長もいわれてましたが、役場業務の一部は接客業です。電話マナーの基本は十分にすべきです。さわやかな電話対応、スマートな接客は、受ける側からすると非常に心地良いものです。町長は前職がサービス業の最たる職にあった訳です。

航空業界等の講師を招いて勉強会などを開いてみてはいかがでしょうか。要望します。



町長のマニフェストの

産業振興について

大多和 正夫 議員

議員 農業の規模拡大を目指す項目に、「農業の法人化、6次産業化を推進」とありますが、どのような具体的な対策を考えているのか伺います。

また、遊休農地解消のための農業法人の新規誘致とあります。町農業委員会調査による令和2年の遊休農地は、水田^{8.6}ha・畑^{17・3}haの合計^{25・9}haであり、農地面積の約2%で、郡内では少ない状況ですが、遊休農地解消に向けて、町外からの法人誘致を含め具体的な内容について伺います。

法人化への取組みの指導を

議員 法人化への取組みは農家個々では技術・事務関係等色々な難しい問題があります。法人化への指導体制が必要であり、その体制づくりの工程等具体案があるのか伺います。

農業の法人化と6次産業化が必要

町長 農業の規模拡大は個人も可能であります。今後は法人化での規模拡大による生産性を上げないと厳しいと思います。規模拡大した農業法人が

各種中小企業がもつと活発に活動できる町に

議員 商工業・農業の起業へ最大限の支援とあります。両起業への最大限の支援策は具体的にどのようなものか伺います。

町の観光業については、新型コロナウイルス発生以前は宿泊を伴う観光客は例年30万人強の人が訪れており、コロナ発生の昨年は8万人程度と大幅に減少しており、観光商工関係者は経営面で非常に大きな打撃を受けております。農業関係においても、スーパー等の量販店需要は維持されていますが、業務用の大口需要は、飲食店等の時短要請で大幅に減少し、取引価格が低迷し、厳しい経営状況です。

今後のアフターコロナにおける観光業、商工業、農業者等の経営支援についてどのような具体的な対応を考えているか伺います。

商工会とタイアップしながら起業支援を

町長 商工会活動の一環で、起業支援のために起業塾で支援することや補助金制度を充実していけば、町経済の活性化も図られ人口減少も歯止めがかかるかもしれません。

白子町はもともと創業というか、起業しようという人が結構多い町だと思います。商工会とタイアップしながら起業支援を進めたい。

アフターコロナにおける支援策については、観光業の売上げは平年の2割程度であり非常に厳しい状況が続いております。農業や他の業種でも大きな被害が出ていると聞いています。

町の産業が再生できるような独自の支援策を考えていきます。

マニフェストの取組み順位と、最優先課題の工程表の提示を

議員 町長のマニフェストについて、任期の4年間に於いてどのような工程で取組みを進めていくのかを我々が理解するためにも年度別の取組み順位予定表及び優先課題の取組み工程表等について、我々もマニフェストの実施に向けて協議を進めたく、なるべく早い時期に提示を願いたいと思います。考えを伺います。

町長 万全の形でマニフェストの実行計画は難しいが、概算で出せると思います。



各種イベントを 今後どのように展開していくのか

板倉 正道 議員

議員 白子町は町発展のため、さまざまなイベントを通し、町の発展を目的に事業を実施してきました。

①「チューリップ祭り」は、町民参加型のイベントとして定着しており、オーナー制度の趣旨を理解し、近隣住民までも参加しています。

②「白子温泉桜祭り」は、春先に咲く河津桜は白子町の早春の風物詩として定着しており、県内外からも多くの方が来町され、中里地区は大変な賑わいを見せております。

③「たまねぎ祭り」は、交流事業として企画したものであり、白子たまねぎのイメージアップと観光振興を目的に取組んでおります。

また、石井食品では白子産たまねぎを使った「イシイのハンバーグ」も販売され好評のよう

です。白子産たまねぎはみずみずしく甘く、健康志向の流れから、多くの人がたまねぎ狩りを楽しんでおります。

何よりも農産物を生産者自ら価格を決められる画期的な成果だと思えます。

④「イカダのぼり大会」は、川に触れることにより川に対する親しみを深める治水事業として、国や県から高い評価を得ているイベントであり、南白亀川に対して防災事業始め、各種事業が優先的に進められています。

今年度実施予定の旭橋河口付近のかき殻除去もその一例であります。

これらの各種イベントは、白子町として意義あるものと思いますが、この先、継続していけるものか伺います。

是々非々で判断

町長 正直いいまして、私自身できた経緯とか分かっておりませんし、これらのイベントが今後どういう影響を及ぼすかわかりません。いえることは、各実行委員会を尊重しながら必要なイベントは残すし、負担になるものや存在意義の薄れたものは廃止してもいいと思います。

正直いって、どれをどういうことはありません。

行政が継続的に支援することが必要

議員 4つのイベントについての考え方は、実行委員会に委ねることですが、主体はあくまでも町の事業です。実行委員会はボランティアです。権限は町主体の事業ですので間違いのないようお願いします。4つの事業に関しては町民参加型のイベントとして定着しており、どの事業も必要です。

また、白子町は主だった観光資源がありません。交流人口増加を図り、町の活性化に結び付けるべきだと思いますが、町長の考えを伺います。

町長からの具体的な答弁はありませんでした。

町職員と町民ボランティアの整合性は

議員 町職員は代休等があります。町民ボランティアは無償です。

今後イベントを続けていくうえで精査すべきだと思いますが見解を伺います。実際に4つのイベントで町職員2百28名、ボランティア百60名おります。継続するには整合性が必要だと思います。

町長からの具体的な答弁はありませんでした。

新事業に関する

考え方は

議員 新町長として新しいイベントの取組みを考

えているのか伺います。

今のところはない

町長 新しい事業については今のところ考えておりませんが、今後一つなくなれば一つ作る形で考えるべきだと思います。

議員（要望）新町長でするので細かいことはいいなと思います。町発展、振興事業ですので創意工夫してより良い町づくりをお願いいたします。



教育問題について

大多和 秀一 議員

選挙公約の中から教育について改革を実施とあります。具体的には「教育レベルの整備」「教育環境の整備」「保育所・小学校の再編成」「再編のための町民会議の設置」となっていますが、これらについて伺いました。

教育レベルを整備 するとは何

議員 我が国の教育は、日本のどの地域でも一定の水準の教育が受けられるようになっていきます。特に白子町のように、公立学校に対する学習指導要領の影響力は強く、これに沿う形で授業が進められています。この事を踏まえて、教育レベルを整備するとはどのようなことなのか伺います。

三小学校の統合と教員の レベルアップが必要

町長 三小学校の統合も教育レベルアップの要素になると思っています。なぜかと言いますと10人

足らずの学級が3クラスあるような形よりは、統合して2クラスにして、お互い切磋琢磨できるような教育スタイルが望ましいと思います。

それだけでなく、聞くところによると白子町には教員もあまり転勤をしにくいという事も漏れ聞いております。やはり教員のレベルアップも必要だと思えます。教育長、教育委員により一層の尽力を頂きたいと思えます。

教員の質の低下とは

議員 町長が言い切る教員の質の低下というのはどのような所の判断なのか伺います。

白子町の学校では心配という声がある

町長 進学率など全部を含めてですが、中には白子町の学校では心配だから、引越して他の所で教育したいという人もいます。そうではなく、白子町の教育レベルを上げるには、それなりものをやらないといけないような気がします。

教育環境の整備とは

議員 これまでも多くの施設整備がされ、昨年は白濁小学校の大規模改修も実施されました。この整備とは人的なものなのか、施設なのか、両者なのか伺います。

町長からの具体的な答弁はありませんでした。

保育所・学校の再編をどう考える

議員 保育所・学校再編を検討するとありますが

保育所については、将来的に教育と保育を総合的に提供する施設、認定こども園制度を考えているのか伺います。

小学校再編については、これまで幾度となく所管の中で話題となっているところですが、一つの目安として一学年の児童数がひと桁に減少した時点で検討という考え方で推移しています。この事を踏まえて、小学校の再編について伺います。

認定こども園は

検討に値

学校再編は早い段階で

町長 保育所については厚労省の線引きがありますが、文科省と統合した形でこども園という形ができていくものであれば、検討に値すると思います。本来教育と保育を一緒にするとか分けるとかの問題ではないと思います。

小学校の再編についてですが、長南町、睦沢町、茂原市で小学校の統合が

進んでいます。白子町においても避けては通れないところまで来ています。一学年が10人以上確保できればよいとかいう問題ではありませんので、早めに対応しなければならぬと思っています。

中学校も統合したことにより、誇れる白子中が出来上がった訳です。で、小学校も統合を進めれば小中一貫校という形もとれますので、教育面でも良くなってきます。白子中の周辺は今後白子町の中心地になって行くと思いますので、そこに仮に統合を進めれば、スクールバスも使用しやすくなります。出来るだけ早い再編を進めます。

町民会議の設置について

町長 学校再編の為の町民会議の設置が必要だと考えていますが、現在設置されている青少年育成白子町民会議が代替えできれば、それでも良いと思います。

「げんき君パーク」など 海岸沿い公園の整備を

市川 隆子 議員

議員 町では子育てしやすいまちづくりのアンケートを実施していますが、一番が公園や児童館など乳幼児の遊び場の整備です。

「げんき君パーク」は休日には多くの親子連れが楽しんでいます。が、駐車場が少ない状況です。波乗り道路西側の駐車場が利用可能なら、案内板などを設置できないか伺います。

また、公園の整備についての考え方を伺います。

県に要望、協議を行う

商工観光課長 施設利用者は西側駐車場を使用し、安全に利用できるよう管理に努めていきます。

公園施設は、県立九十九里自然公園内の県所有の施設であり、町は指定管理者として管理運

営を行っています。施設整備については、概ね10万円を超えない範囲での修復修繕のみとなっています。

整備等については、地元の要望、協議により利用者の利便性向上のために県に対し要望、協議を行っていきます。

国保税子どもの均等割軽減を

議員 国保は他の健康保険と違い、世帯員数に応じた均等割が掛かります。政府は、子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、国、地方の取組みとして2022年4月から未就学児に係る均等割を5割軽減することを決定しました。

子育て世帯の負担軽減のため、18歳までに対象年齢を拡大できないか伺います。

町長の意向を含め判断

税務課長 独自に行うことは財政状況、他の被保険者や町負担が増加すること等ありますが、町長の意向を含め判断したいと思っています。

議員 学校給食は食教育です。子どもたちに町のことを知ってもらい、農業にも親しみを持ってもらい地産地消を進めようと地元野菜の50%利用を目標にしています。

学校給食の無料化を

議員 学校給食は食教育です。子どもたちに町のことを知ってもらい、農業にも親しみを持ってもらい地産地消を進めようと地元野菜の50%利用を目標にしています。

このように進めてきた学校給食ですが、給食費の負担が大変という声もあります。

町の学校給食無料化についての考えを伺います。

また、実施した場合の負担額も伺います。

無償化むずかしい

町長 生活が大変な方もいらっしゃると思います

が、自分で食べるものは自分で払うというのが本来の形だと思うので、すぐに分かりましたとはならないと思います。

無償化にした場合の町負担は3千7百万円から3千8百万円です。

介護施設スタッフ

不足の解消を

議員 21年度介護報酬改定は0.7%増だということ。この引き上げ幅では深刻な人手不足などは解消されません。

町長は待機者ゼロを目指すとしていますが、具体的にはどのような構想か伺います。

また、スタッフ不足も解消されなければ待機者ゼロは難しいと思います。が見解を伺います。

施設整備の検討ス タッフ増も考えている

健康福祉課長 待機者数や介護保険料とのバランスを考慮し、第9期計画に施設整備を検討すると

共に、要介護状態にならないように健康ポイント事業や介護予防事業を推進します。

また、スタッフも増やさなければならぬと思っています。

シティバス構想とは

議員 町では不便だといわれているバスが自家用車に代わる交通手段だといえます。

町長がいわれているシティバス路線はどのように検討されるのか伺います。

また、路線バスが走る幹線と居住区への支線の面的整備が効率的だと思いますが見解を伺います。

スクールバスの日中活用で

町長 小学校の統合に伴うスクールバスの日中の活用ができればと考えています。

総務課長 面的整備は検討していきたいと思っています。

石井かずよし2のマニフェスト

今関 勝巳 議員

議員 今回3番に都市計

画の見直しを図るとあります。白子茂原バイパス、スーパーハヤシ付近に3つのゾーンを構築するとあります。公共施設ゾーンには、公共ゾーンといつても色々ありますが、何を指しているのか。住宅ゾーンについても町内外の業者、何件くらい予定しているのか伺います。

コンパクトシティ的な都市機能

町長 白子町の都市計画は平成11年に制定され、その後、変更されていません。

白子茂原バイパス沿線に、白子中学校北側からスーパーハヤシ付近、株式会社シラコ、森川製作所付近までの線引きを見直して、公共施設ゾーン、商工ゾーン、住宅ゾーンを創っていききたいと思います。

白子町には中心市街地

がありません。これを形づくっていききたいと思っています。それには白子中学校北側に白子バイパスができるわけです。白子バイパスの経済効果は数十億円あると思います。

この経済効果は駅がない白子町ですから、やはり道路による交通アクセスしかありません。産業にとつても観光にとつても非常にいい白子バイパスだと思っています。いわゆるコンパクトシティ的な都市機能をつくらないと白子町の中心がないわけです。

白子茂原バイパスの完成はいつか

議員 白子町には駅がありませんので一番関心があると思います。この話を持ち上がったから既に30年近く経過をしている

中で、未だ白子サッカー場までしか完成しておりません。そういう中で企業誘致といつても優良企業は道路が完成しない限り来るとは思えません。

自分たちが生きている間に完成するかどうか。話がありました構想等は素晴らしいものがあると思います。これを予定した予算規模、財政面での考えを持っているのか。マニフェストに書いてあつても、何か町民をごまかしているような気がしてなりません。任期中にどこまでできるのか伺います。

町民の皆さんと一体

町長 県はグリーンラインが優先だという話がありますが、やはり町民の皆さんと一体となつて要望しないと白子町は本当に遅れてしまいますので、喫緊の重点施策だと思えます。土地を用意すれば企業は来ます。

補正予算等に対する

質疑応答

白子町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第3号

【市川隆子 議員】

議員 利用者の人権擁護や虐待防止のため必要な体制整備や従業者に対して研修を実施するとされていきますが、どのように実施する予定なのか。また定期的に行うのか伺います。

健康福祉課長

包括支援センターで、ケアマネージャーを集め、人権擁護や虐待についての研修を行っていきます。

定期的には行っていますが、これからの包括支援センターの研修の内容によって変わってくると思います。

令和3年度白子町一般会計第2回歳入歳出補正予算について

議案第6号

【大多和秀一 議員】

議員 郡内でもいち早く65歳以上の方々の、新型コロナウイルスワクチン接種が実施されますが、この希望者数と接種体制について、どのような取り組みをされたのか伺います。

健康福祉課長

当初2千人を予定しましたが、約1千6百人の予約がありました。

早めの集団接種を進めたいという考えで、医師については長生郡市以外の医師にお願いをする形を取りました。前町長より千葉大学の方に依頼をし医師・看護師を確保する事ができ、実施の運びとなつたものです。

接種人数に係わらず、1日の報償で契約をしており、この財源については国庫補助金で賄われる事になっています。医師については1日6時間で20万円、看護師については1日6時間で6万6千円、この計算方法はワクチン1回につき2千2百77円、1日の接種回数約百20件として算出し、報償を決めさせていただきました。

【大和正之 議員】

議員 動画制作委託料百万円の制作内容、業者選定方法を回答願います。また百万円で1本の動画を制作するより30万で3本製作出来ないか検討願います。

総務課長 ワーケーション環境整備事業で、一般財団法人地域活性化センターに加入している市町村、企業が連携して事業

に取組み事業費については全額補助で、2百万円で採択頂きました。動画制作に百万円、PR50万

円、会場借り上げ20万円です。

議員 中学校施設整備事業費ですが、中学校3年生になるとオーストラリアに希望者を派遣していましたが、今年度はコロナの影響で国内でのイングリッシュキャンプに変更しましたが、募集定員を上回る応募があり抽選で参加者を決定するそうなので、全生徒が参加できる様な考えがあるか伺います。

教育課長

白子町では中学生を毎年8名ほどオーストラリアに派遣していましたが、コロナの影響で国内での代替行事に変更しました。当初は15人前後を予定していましたが、35名の応募がありましたので、予算を切詰め若干名増やします。

議員

石井町長のマニユフェストの1番目に教育レベルの向上とあるので、35名の生徒が同じ環境の中で、1班2班に分けて

勉強できる様に石井町長の考えを伺います。

町長

はつきり言つて、そのところは私も分かりません。80名のうち35名が行きたいということであり、全員連れていくなら別ですが、その辺の不公平感が無ければ良くなる気もしますけれども、その点は私も分かりません、すみません。



こんなことが
決まりました
定例会(第2回)
議案の内容

請願書

【請願第1号】

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

請願者

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会

会長 秋田 秀博

【請願第2号】

「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

請願者

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会

会長 秋田 秀博

(採択)

【発議案第1号】

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

提出者 板倉 正道

賛成者 市川 隆子

大和和秀一

齋藤 鉄也

大和正之

今関 勝巳

東海林東治

宗島 理仁

【発議案第2号】

国における2022年度教育予算拡充に関する意見書

提出者 板倉 正道

賛成者 市川 隆子

大和和秀一

齋藤 鉄也

大和正之

今関 勝巳

東海林東治

宗島 理仁

(全会一致で可決)

このほか10件の議案が審査され、いずれも可決されました。

なお、詳細は広報しらこ7月号をご覧ください。

永年在職議員表彰

特別自治功労者
(議員在職27年以上)

第2回定例会において、議員に対し表彰状の伝達が行われました。



市川 隆子 議員

この表彰は、全国町村議会議長会より、永年にわたり地域振興と地方自治の進展に尽力された功績により表彰されるものです。

本町から1名の議員が表彰されました。心からお祝い申し上げます。

町議会を傍聴しましょう。
次の定例会は9月10日～17日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の波は未だ収まる気配を見せません。自粛続きの日々に辟易していらつしゃるところだとは思いますが、引き続きの感染予防を意識した行動をお願いいたします。

さて、先日、熱海市で大雨による大規模な土砂災害が発生しました。異常気象が多い昨今です。で、こういった自然災害がいつ起こるかわかりません。日頃から避難場所や経路、非常時の備えの確認をして、有事の時に迅速な対応を取るために備えを怠らぬようお願いいたします。

長きにわたっているコロナ禍の終焉は未だ見え、湿っぽい話題が多く耳に入る情勢となっておりますが、町民の皆様的心が少しでも晴れる町づくりができるよう、日々邁進して参ります。皆様につきましては、残暑も厳しくなっておりますので、お体ご自愛下さい。

今井 滋則

議会広報編集委員

委員長	北田 百人
副委員長	市川 隆子
委員	大多和秀一
委員	大多和正之
委員	東海林東治
委員	宗島 理仁
委員	梅澤 哲夫
委員	大多和正夫
委員	今井 滋則

